

紙上法話

八万六千四百秒

センター布教師 少林寺住職 峯岡俊徳



この様な話を聞きました。

次のような銀行があると考えてみましょう。その銀行は、毎朝あなたの口座へ八万六千四百ドル振り込んでくれます。同時に、その口座の残高は毎日ゼロになります。

つまり、八万六千四百ドルの中で、あなたがその日に使い切らなかつた金額はすべて消されてしまいます。あなただつたらどうしますか。もちろん、毎日八万六千四百ドル全額を引き出しますよね。

私たちは、一人一人が同じような銀行を持つています。それは『時間』です。

毎朝、あなたに八万六千四百秒が与えられています。毎晩、あなたがうまく使いきらなかつた時間は消されてしまいます。

それは、翌日に繰り越されません。

だから、与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そして、そこから健康、幸せ、成功のために最大限のものを引き出しましょう。時計の針は、走り続けています。今日という日に、最大限のものを作り出しましょう。

一年の価値を理解するには、浪人した学生に聞いてみるといいでしょう。

一ヶ月の価値を理解するには、未熟児を産んだ母親に聞いてみるといいでしょう。

一週間の価値を理解するには、週刊誌の編集者に聞いてみるといいでしょう。

一時間の価値を理解するには、待ち合わせをしている恋人たちに聞いてみるといいでしょう。

一分の価値を理解するには、電車をちやうど乗り過ぎた人に聞いてみるといいでしょう。

一秒の価値を理解するには、たった今、事故を避けることができた人に聞いてみるといいでしょう。

十分の一秒の価値を理解するためには、オリンピックで銀メダルに終わってしまった人に聞いてみるといいでしょう。

あなたの持つている一瞬一瞬を大切にしましょう。

そして、あなたはその時を誰か特別な人と過ごしているのだから、十分に大切にしましょう。その人は、あなたの時間を使うのに十分ふさわしい人でしょうから。

そして、時は誰も待つてくれないことを覚えましょう。

昨日は、もう過ぎ去つてしまいました。

明日は、まだわからないのです。今日は、与えられるものです。